

## 多自然川づくり取り組み事例

タイトル：河道掘削工事箇所における重要種(サジオモダカ)の保全について		
水系/河川名：最上川水系/最上川	河川分類：大河川	
河川の流域面 7040	整備計画流量：7000m <sup>3</sup> /s	セグメント：2-1
事業：河川改修	事業開始年度 3年度	
目標設定：定性的	段階：C(モニタリング・評価時)	
課題・目的(主な)：貴重種、特定動植物の保全		
工法(主な)：移植、植樹		
配慮事項(主な)：多自然川づくりのアドバイザー制度の活用		

## 背景・課題、目標設定

## ＜背景＞

最上川下流では、「防災、減災、国土強靱化のための5カ年加速化対策」として、河道掘削及び樹木伐採が実施されている。

最上川6.8k～7.0k右岸の河道掘削予定箇所において、平成26年度の河川水辺の国勢調査時に重要植物サジオモダカが確認されている。

## ＜課題＞

河道掘削予定箇所では、サジオモダカ以外の重要種も確認されているが、サジオモダカは最上川下流管内では6.8k～7.0k右岸の河道掘削予定箇所のみで確認されていることから保全を行う。

## ＜目標＞

河道掘削範囲に含まれるサジオモダカの移植を成功させ、その後、発芽のモニタリング調査を行い保全措置の効果を確認する。

サジオモダカ  
(オモダ科)



## 生態情報

## 【分布】

・北海道から本州中部

## 【生育環境・生態】

・湖沼やため池の浅水域、水田、水路に生える抽水性の多年草

## 【重要種選定理由】

・平成25年度調査で現存地が25箇所・絶滅地は4箇所である。

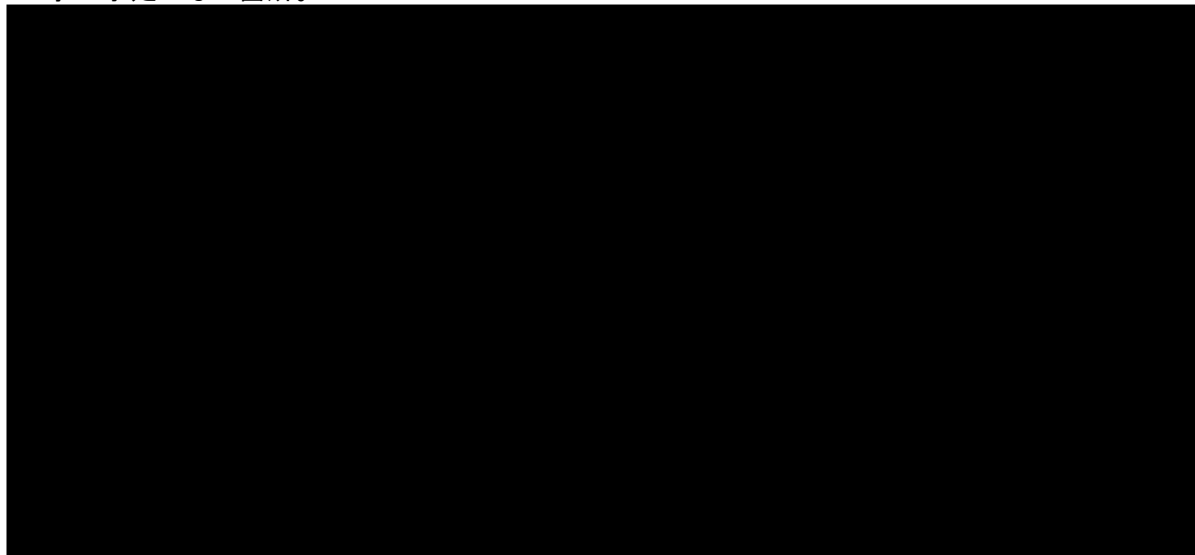
・多くの生育地は開発されやすいところ

## 取り組み内容・対策例(1/2)

■河道掘削予定箇所最上川下流6.8k～7.0k右岸で確認されている計12株のサジオモダカを移植する。

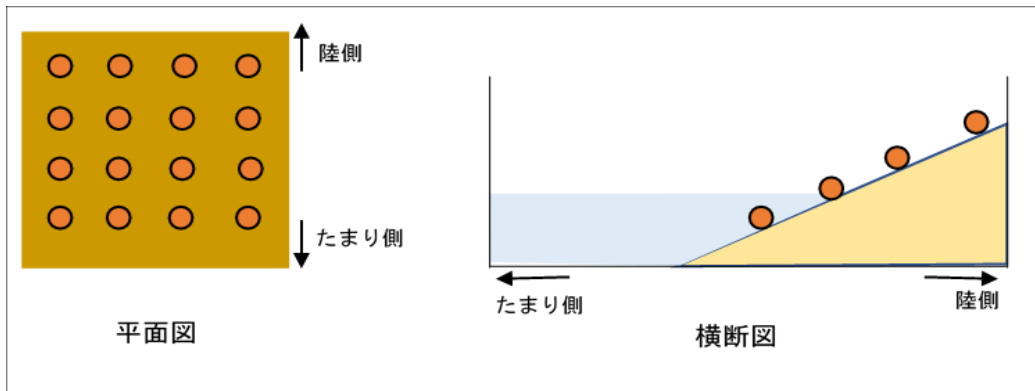
## ■移植先の選定

- ・リスク分散のために両羽橋付近(最上川下流5.0k～5.4k右岸)の4箇所を選定した。
- ・自生地の環境と同じく、開けている、浅く水がたまり、土壌は泥質。
- ・自生地に近く、生育環境の変化が少ない。
- ・工事の予定がない箇所。



## 取り組み内容・対策例 (2/2)

・播種は河川横断方向に数列行い、勾配(冠水頻度の変化)をつけた。



## 播種(●)のイメージ

## モニタリング結果、アピールポイント、今後の対応方針

## &lt;モニタリング結果&gt;

移植作業後、春と秋にモニタリング調査を実施した。

- ・春は12株中8株の萌芽が確認された。播種した種子からの発芽は確認されなかった。
- ・秋は7株の生存、そのうち5株の結実が確認された。



## &lt;今後の対応方針&gt;

- ・モニタリング調査は、河川水辺の国勢調査アドバイザーの助言に基づき、2年間実施する計画としており、令和5年9月に移植後2年目のモニタリングを計画している。
- ・今年度は播種による発芽は確認できなかったが、サジオモダカの種子は数mmと非常に小さく、発芽1年目では芽が小さすぎて確認できない可能性があるため、2年目の発芽に期待している。

## 備考